

諏訪養護学校保護者の皆様

長野県諏訪養護学校長 浦野 憲一郎

第1回学校自己評価アンケートの結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

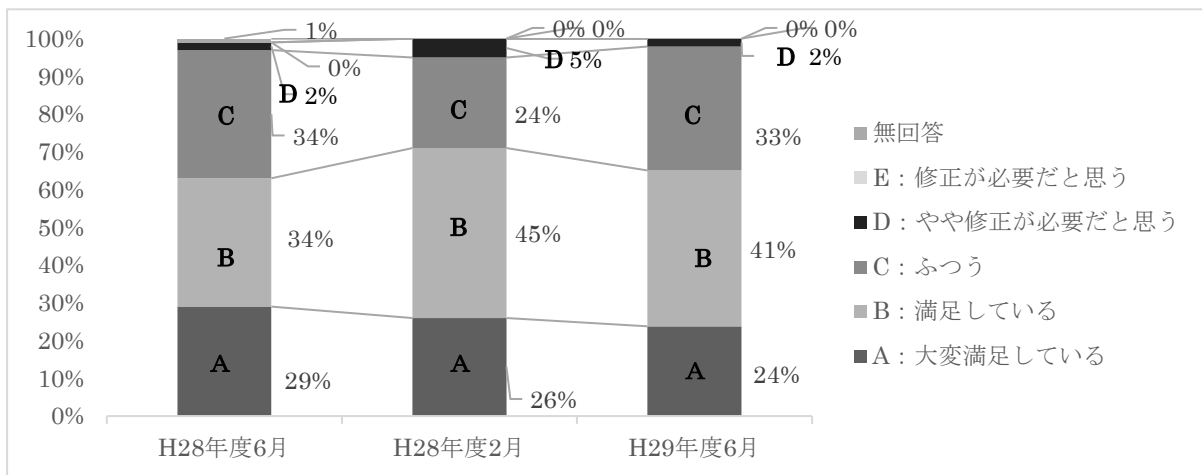
6月に実施しました第1回学校自己評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。保護者の皆様からいただいたご意見を踏まえて、今年度のこれからの教育活動に活かしていきたいと考えております。

今後も、保護者の皆様と共に歩む学校でありたいと願っております。よろしくお願いいたします。

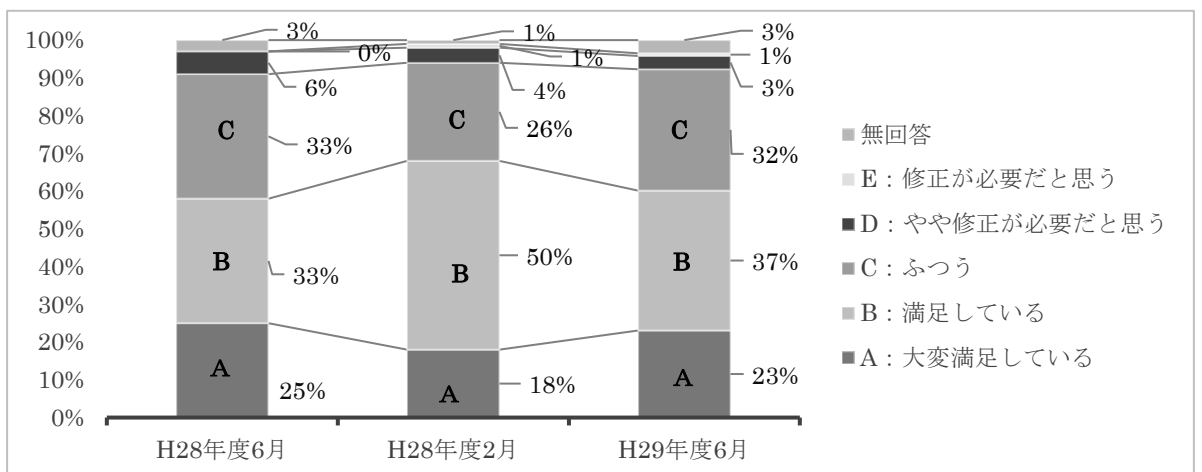
今回のアンケートについては、143家庭より回答をいただきました(回答率85%)。

【指導計画に基づいた個に応じた授業の展開】

①個別の指導計画について、担任と十分話し合っ作成できていると思いますか。



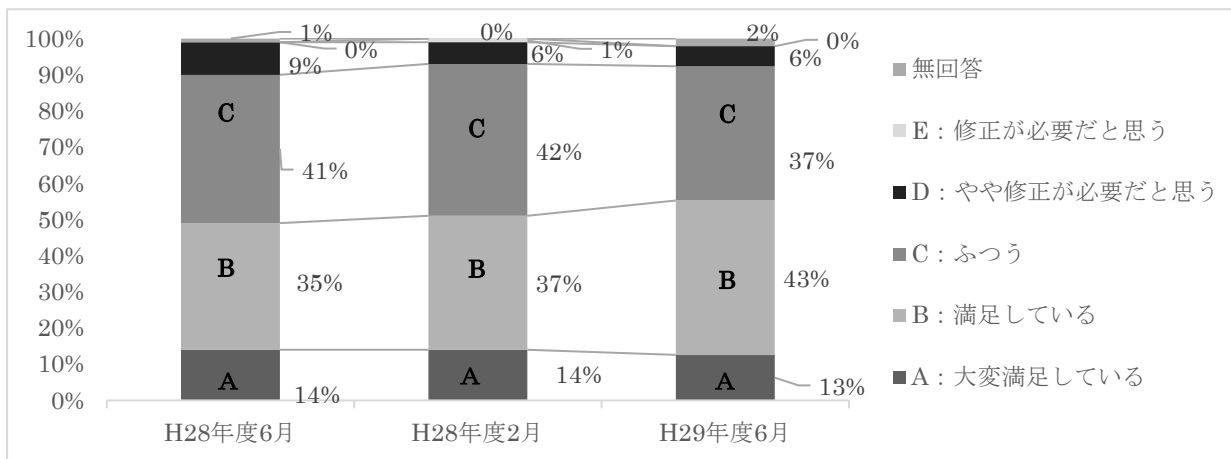
②個別の指導計画をもとに、日々の授業のねらいが立てられ、手だてが工夫された授業になっていると思いますか。



個別の指導計画の作成や、それをもとにした授業に関して、昨年度の6月期と比べると、A「大変満足している」B「満足している」が1～2%増え、昨年度2月期と比べると7～8%減っているという結果でした。本校では家庭訪問、参観日や懇談会など保護者の皆様とお話しする機会を大事にしながらお子さん一人ひとりの教育課題を大切にされた学校生活や授業作りを意識して行っています。また、日常の連絡帳等では学校でのお子さんの姿や具体的な手立てについてお知らせしています。これからも、より一人ひとりのお子さんの課題に沿った授業を展開できるよう、ご家庭と連絡を取りながら、ねらいや手立てを工夫していきたいと考えております。

【実践的・体験的な学習活動を通じたキャリア教育の推進】

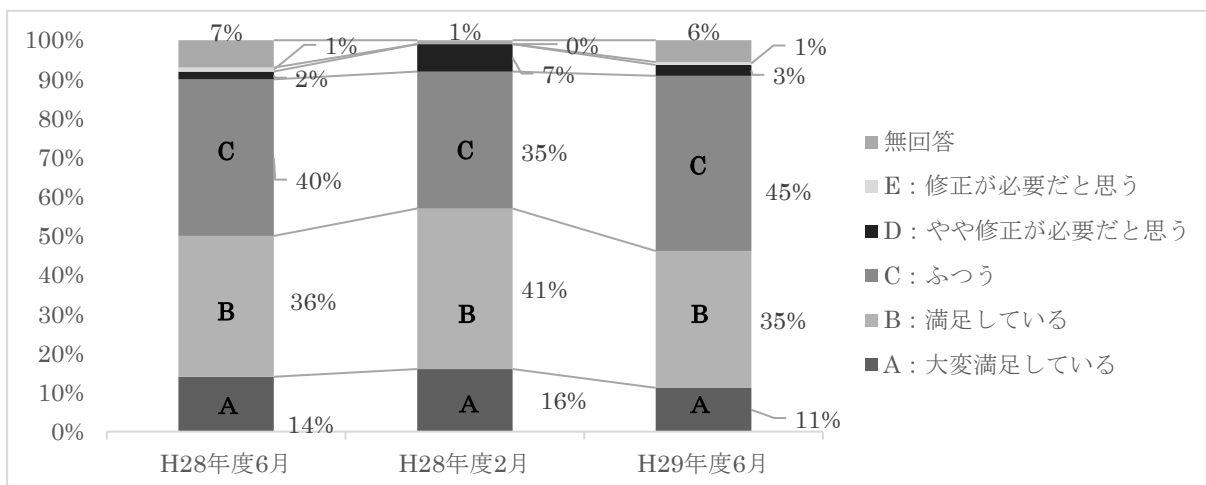
③キャリア教育についての、十分な説明や情報提供が行われていると思いますか。



キャリア教育が本校のグランドデザインに盛り込まれて6年目となります。昨年度まで「も・え・た・は・か・せ」をキャッチフレーズに「ワークキャリア」(勤労、職業観を育てる)を中心に進めてきましたが、今年度より「ライフキャリア」(社会の中で役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程を促す教育)を中心に「キャリア教育の発達段階表」を活用しながら支援にあたっていきたいと考えています。家庭訪問時には、発達段階表から一人ひとりに合わせた重点を決め、次の段階に向けて実践を積み重ねていくこととお話させて頂きました。

アンケートでは昨年度の2月期の結果と比べA「大変満足している」B「満足している」が、合わせて5%増加しています。「実習先がかなり限定的な感じを受ける。」といったご意見があることも踏まえ、より良い情報提供に取り組みながら、新しいキャリア教育の視点に沿った支援を進めてまいりたいと思います。

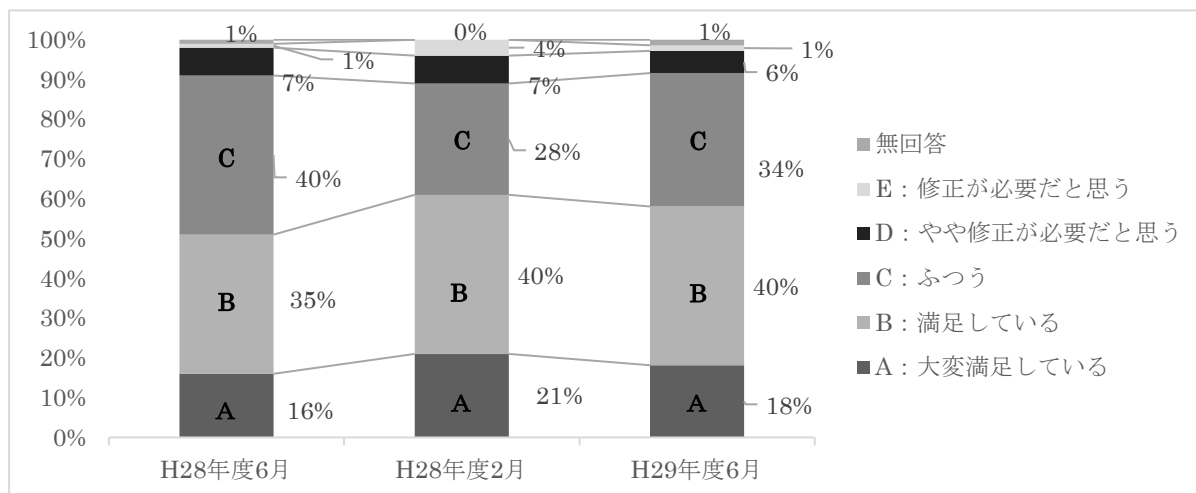
④学校は、お子さんの高等部卒業までの系統的な発達を見通し、「キャリア教育の視点」を大事にした支援を行っていると思いますか。



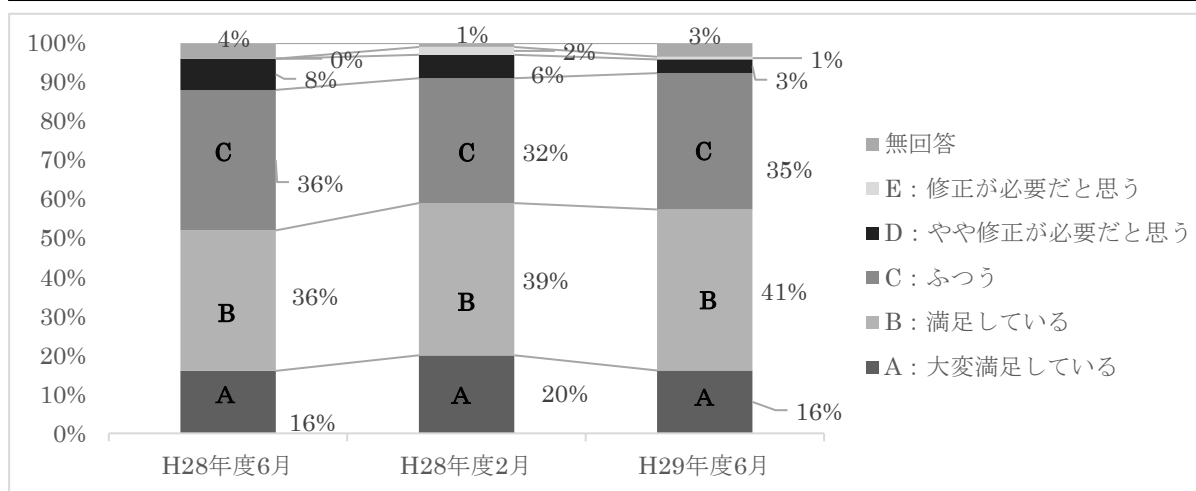
昨年度6月期のアンケートより A、B を合わせた割合が4%、2月期より11%低くなっています。今年度からキャリア教育の進め方が変わったことで、「今年から変更があったためまだよくわからない部分もあります」等まだ見えてこないことがコメントの中からもうかがえます。「発達段階表」などの活用法も含めて職員の研修を深めつつ、キャリア教育の新しい視点から見たお子さんの育ちの姿をご家庭にお伝えできるようにしていきたいと思っています。

【各部、寄宿舎及び関連機関との連携】

⑤お子さんの支援のあり方について、必要な時に必要な人に相談できていますか。



⑥学校は、支援会議等を通して、各部や寄宿舎、関係機関との連携を図りながら支援を行っていると思いますか。



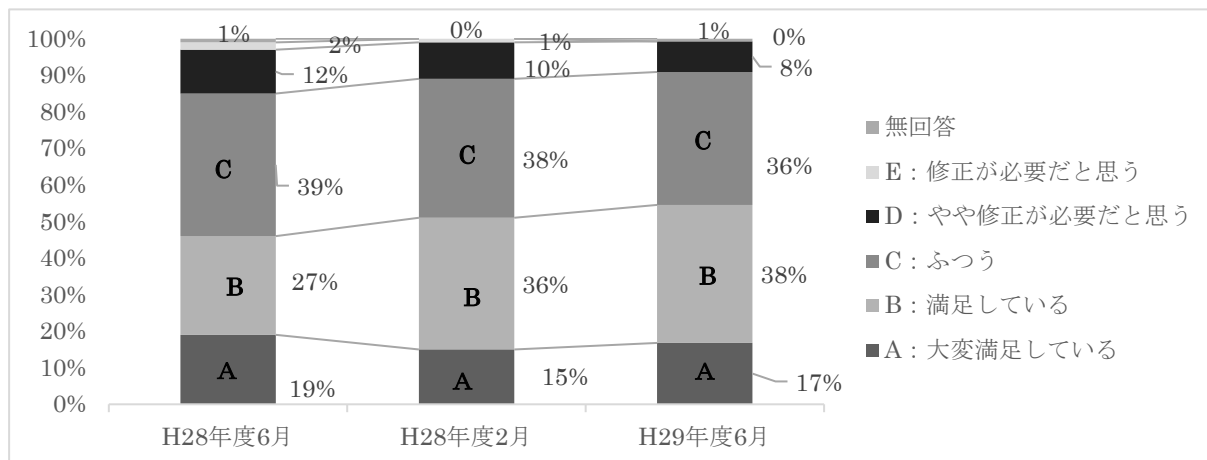
A「大変満足している」、B「満足している」合わせて約6割でした。昨年度の2月期とほぼ同じ割合で6月期よりも7～8%増えました。コメント欄では、「関係機関を含めた支援会議を行ってほしい。」等の声もお寄せいただきました。ご心配なことや 困っていること等、いつでも遠慮なく担任・特別支援教育コーディネーター等へご連絡いただけたらと思います。そこから自立活動主任、進路指導主事、保健室、教育相談などがかわり、必要に応じて外部機関と連携し、様々な立場からお子さんの支援について考えていきたいと思っています。

また、支援会議を通じ、家庭、福祉、療育、行政、学校等、様々な立場からの情報を共有し、お子さんのよりよい生活や将来の姿について話し合う機会も大事にしていきたいと思っています。

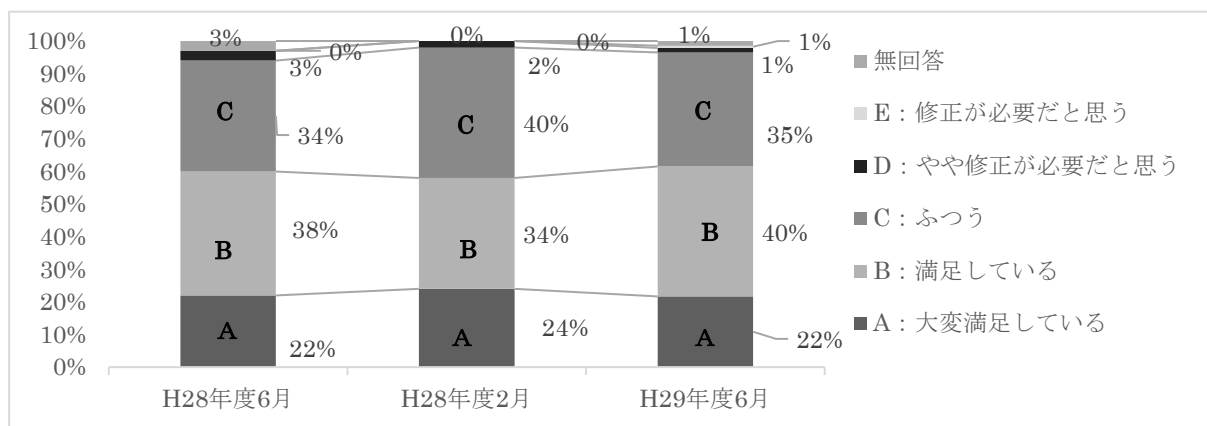
なお、支援会議の意義や内容については、わかりやすくお伝えしていきたいと思っています。

【安全・安心な学校環境の充実】

⑦学校が実施している、安全指導や避難訓練、また現状の施設・設備等の環境は、お子さんが安全な生活を送る上で十分だと思いますか。



⑧学校は、いじめ・体罰・セクハラ防止に努め、子どもの人権に配慮した支援を行っていると思いますか。



⑦ではA、Bとご回答していただいた方が昨年度6月期より9%、2月期より4%増えています。しかし、修正が必要との回答も8%ありました。万が一の災害時に向けて「各自、防災頭巾やヘルメットなど準備するとより安心。」「災害時の備品として紙おむつ、暖房、毛布も心配」などのご意見をいただきました。お子さんが安全に避難でき、家庭へ無事に帰宅できるように、今年度は「引き渡し訓練」を実施しました。また、施設・設備面では、「教室の数が少なく狭い」「できればトイレはすべて洋式のほうが望ましい」等のコメントをいただいています。全教室の窓への網戸の設置が実現していますが、施設・設備面に関する改善点については、学校・PTAから県への陳情等でさらに要望していきます。

⑧については例年と同様の結果となっています。人権に配慮した支援に関してお寄せいただいた「一人ひとりに合わせながら平等に支援を」等のご意見一つ一つを大切に考え、日々の私たち自身の姿を見返し、あたたかな支援を心がけていきたいと思ひます。

お忙しい中、第1回アンケートへのご協力ありがとうございました。今回のアンケート結果を踏まえて、よりよい教育活動が行われるように取り組んでまいりたいと思ひます。

第2回のアンケート実施は12月を予定しております。
ご協力よろしくお願ひいたします。

長野県諏訪養護学校
教頭 宮下 直久
担当 関 克徳
TEL 0266 - 62 - 5600